

人はなぜ働くのか

はらからは、昭和58年4月無認可の小規模作業所としてスタートしました。

その時から一貫して暮らせる賃金の支給を目指してきました。たとえどんなに障がいが高くとも、仕事をし賃金を得て自分の暮らしを支えるのは当たり前のことだと考えたからです。年金と合わせて月額15万円を目標にしてきました。

「目指すは月額賃金7万円」はここからきています。

人はなぜ働くのでしょうか。

障がいがあると「働くのは無理だ」という言葉が聞こえてきます。確かに障がいがあると働くことに様々な困難が生じます。しかし、困難さは不可能とは違います。困難なだけです。

一般に働く意義は次のように考えられています。

- ①生活するため
- ②社会的役割を果たすため
- ③自己実現のため

このことは障害の有無や程度によって異なるのでしょうか。

本講座は、はらから福祉会が利用者工賃月額7万円を実現するために、何を考えどのような取り組みをし、今後どこへ行こうとしているのかを確認していただくためでもあります。

平成27年11月1日 日

10:00~12:00

槻木生涯学習センター **参加無料**

宮城県柴田郡柴田町槻木下町3-1-60
(JR東北本線槻木駅より徒歩7分。駐車場あります。)

はらから福祉会 理事長

講師：武田 元



はらから福祉会 えいむ互理の仕事風景

お申込方法

お電話またはFAXにて、はらから会事務局までお申込みください。

(FAX用申込用紙は裏面のものをお使いください。)

はらから会事務局 電話：0224-58-3446 FAX：0224-54-4112

主催：はらから会 共催：社会福祉法人 はらから福祉会